

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-3	政策名	商業の振興	政策の 目指す姿	商業機能を充実し、人とモノの 流れを活発にしています	施策 主管課	商工労政課	施策主管 課長名	古川 昌
	施策No.	2	施策名	商店街の再生	施策の 目指す姿	歴史と景観が調和した魅力ある 商店街となっています	関係課名			
	現状と課題	・商業機能の郊外化や後継者不足により、既存商店街の販売力が低下するとともに、空き店舗が増加しています。 ・空き店舗増加に伴い、商店街での買い物客や多くの人が行き交う場が少なくなり、街なかにおける人と人との交流の機会が失われています。 ・買い物客やイベント等に訪れる市民に加え、観光客を巻き込んだ賑わい創出を目指していますが、街なかの観光スポットが不足しており、商店街へ呼び込めていない状況にあります。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1)商店街の賑わいづくり支援 ○商店街のイベント支援 ・商店街振興組合等が商店街の賑わいづくりのために行うイベントに係る経費の一部を補助 ○商店街共同施設の整備支援 ・商店街がアーケードや街路灯等の共同施設の整備や補修等に係る経費の一部を補助 ・商店街での買い物客への利便性を高めるため駐車場を確保 ○商店街における憩いの場づくり ・「市民ふれあい広場」を設置し、商店街における買い物客や一般市民への利便施設として提供 ○新規出店の促進と定着支援 ・中心市街地の賑わいづくりを促進するため、未利用店舗を活用して行う事業者に対して改装、広告費に係る経費の一部を補助 (2)歴史と景観が調和した商店街づくりの推進 ○地域住民による特色を生かした商店街づくりの支援 ・中心商店街の賑わいづくりを促進するとともに自主的なまちづくりを促進するため、地域住民や関係団体の取り組む事業に交付金を交付 ○先人や歴史を活用した街なか誘導への取組支援 ・買い物客や観光客のため、中心市街地における賢治さんの香りが感じられる休憩施設「賢治の広場」を開設
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
市街地における1日 当たりの歩行者数	市街地に人がどれだけ 来たかを示す指標	出典:商工会議所「通行 量・交通量調査」 ※調査全ポイント(花巻 14、大迫1、石鳥谷1、東 和2)、日曜日1日(7:30- 19:30)計測	人	目標値				9,000	9,000	9,000
				実績値	6,820	8,961	8,252	7,668	5,752	5,008
中心市街地の新規出 店数	多様な商業形態であるこ とを示す指標 (中心市街地における新 規出店状況)	出典:商工労政課	店	目標値				5	5	5
				実績値	4	4	4	7	0	3
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>■成果指標「市街地における1日当たりの歩行者数」…【達成度c】 商店数や定住人口の減少に加えて、マルカン閉店等の影響を受け減少傾向が続いている。</p> <p>■成果指標「中心市街地の新規出店者数」…【達成度c】 制度の改正直後は、実績がなかったが、商店街での新たな創業を行う事業者は3件と前年度から皆増となり、創業マインドが戻ってきた。 ※賃貸料への補助の期限が切れると閉店する事業者が少なくなかったため、平成27年度より創業前の事業計画の立案から創業後の伴走支援に事業内容を見直した。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1-1	商店街賑わいづくり事業	商工労政課	A	B
	商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業を支援 (イベント補助:12件、補助金額:4,344千円)			
1-2	商店街賑わいづくり事業	商工労政課	B	B
	商店街の利便施設「市民ふれあい広場」の運営を支援 (対象:一日市、大迫、東和)			
1-3	商店街賑わいづくり事業	商工労政課	A	B
	中心市街地の未利用店舗を活用して出店する事業者に対し、店舗の借り上げに要する経費を支援 (補助金交付:平成26年度新規出店者6店舗(継続)、経営指導:4店舗)			
1-4	商店街賑わいづくり事業	商工労政課	B	B
	市の事業に密接な関係にある花巻商工会議所、岩手県中小企業団体中央会等に対し補助金を交付			
2	商店街利便性向上事業	商工労政課	A	C
	商店街の利便性向上を図り賑わいづくりを促進するため、商店街の便益施設管理や共同施設の補修や設置の経費への補助を行うほか、大迫地区内中心商店街来訪者向けの駐車場を確保する。(共同施設補助:2件、補助金額:461千円)			
3	商店街景観形成事業	商工労政課	B	C
	花巻、大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心商店街の顔づくり事業に取り組む商店街等を支援 (交付金の交付団体数:4団体) 中心市街地活性化と賢治の世界に触れ合う市民交流の場である賢治の広場を運営 (入館者数:15,369人 前年比+1,250人)			
4	宿場町おおはさま400年記念事業	大迫・地域振興課	-	-

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・4地区でスタートした顔づくり事業は平成28年度をもって花巻地区の終了を決定した(3地区は継続)。</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・一過性ではなく継続的な効果を上げるため経営指導など伴走支援を強化する。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・リノベーションによるまちづくり等、従来にない取組について事業候補者に紹介したり支援する必要がある。</p> <p>・街なかになが人が集まる施設や機能を配置、整備することが必要である。</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・少子高齢化、人口減少、大手資本による小売競争、サービスの多様化など構造的な要因による既存商店街の衰退の流れを止める必要がある。</p> <p>・新規事業参入者の創出よりも現状を維持するうえでの課題について目を向け、将来の商店街のあり方を模索する必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・街なかにある遊休不動産の活用を促進するような取組(リノベによる街づくり)や新規出店者などの創業支援を進める。</p> <p>・立地適正化計画に沿ったコンパクトなまちづくりを進めるなかで、公共施設(図書館、公園)などほか居住空間を(災害公営住宅)政策的に配置しながら商業機能を維持していくことを検討する。</p>
--